



R18

MY HERO ACADEMIA UNOFFICIAL FANBOOK #04
BAKUGO KATSUKI-TODOROKI SHOTO 20180617 by AMEROSIA

■ハロウィンパロです。
一部暴力的表現があります。
全て捏造ですのでご容赦ください

四肢を
襲う
激痛

激しさを
増す
心臓の
鼓動

何度も
途切れそうに
なる
意識

それでも

それでも
辿り着いた
—

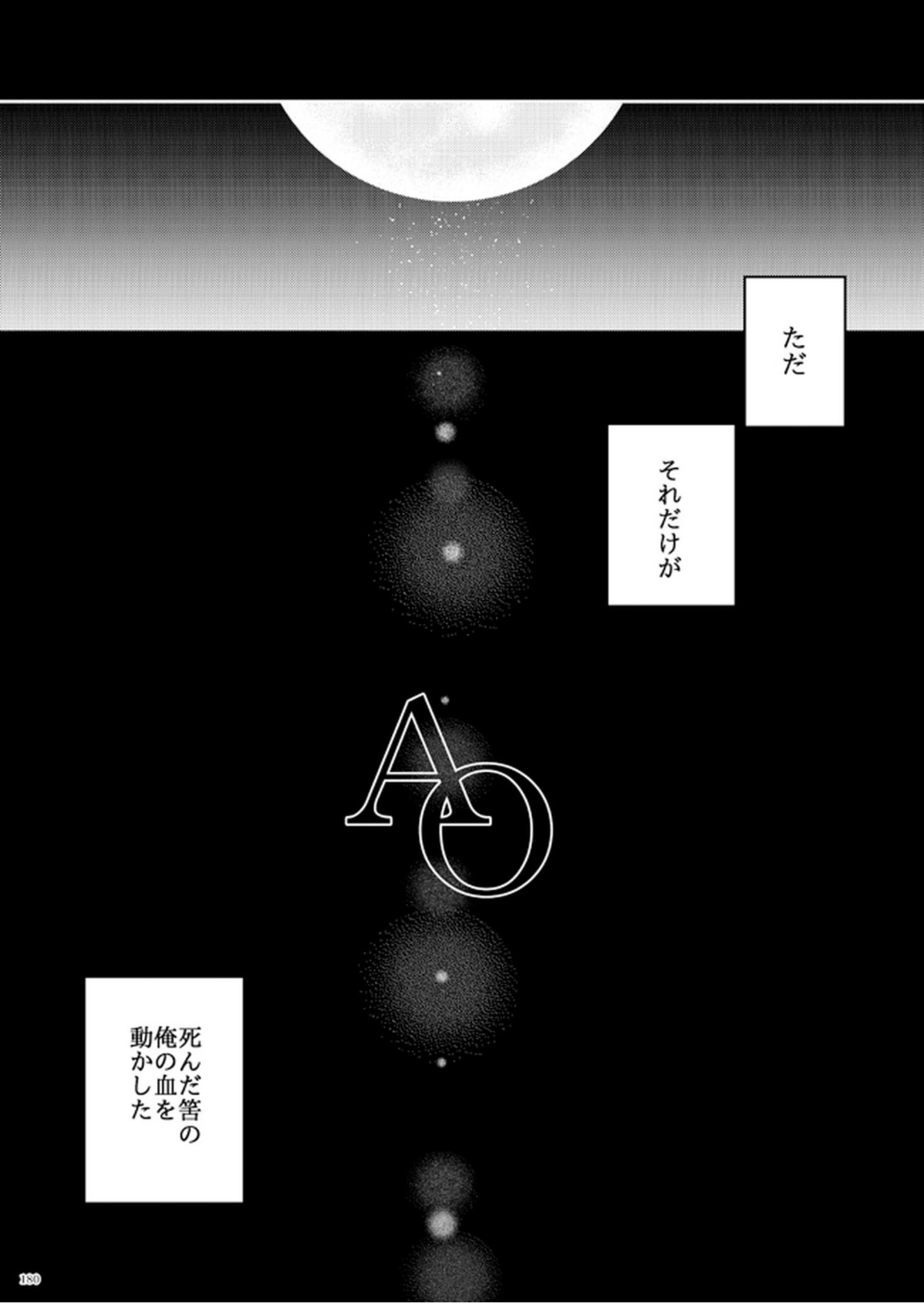


その
笑みが

おかえり

爆豪

あまりにも
悲しくて

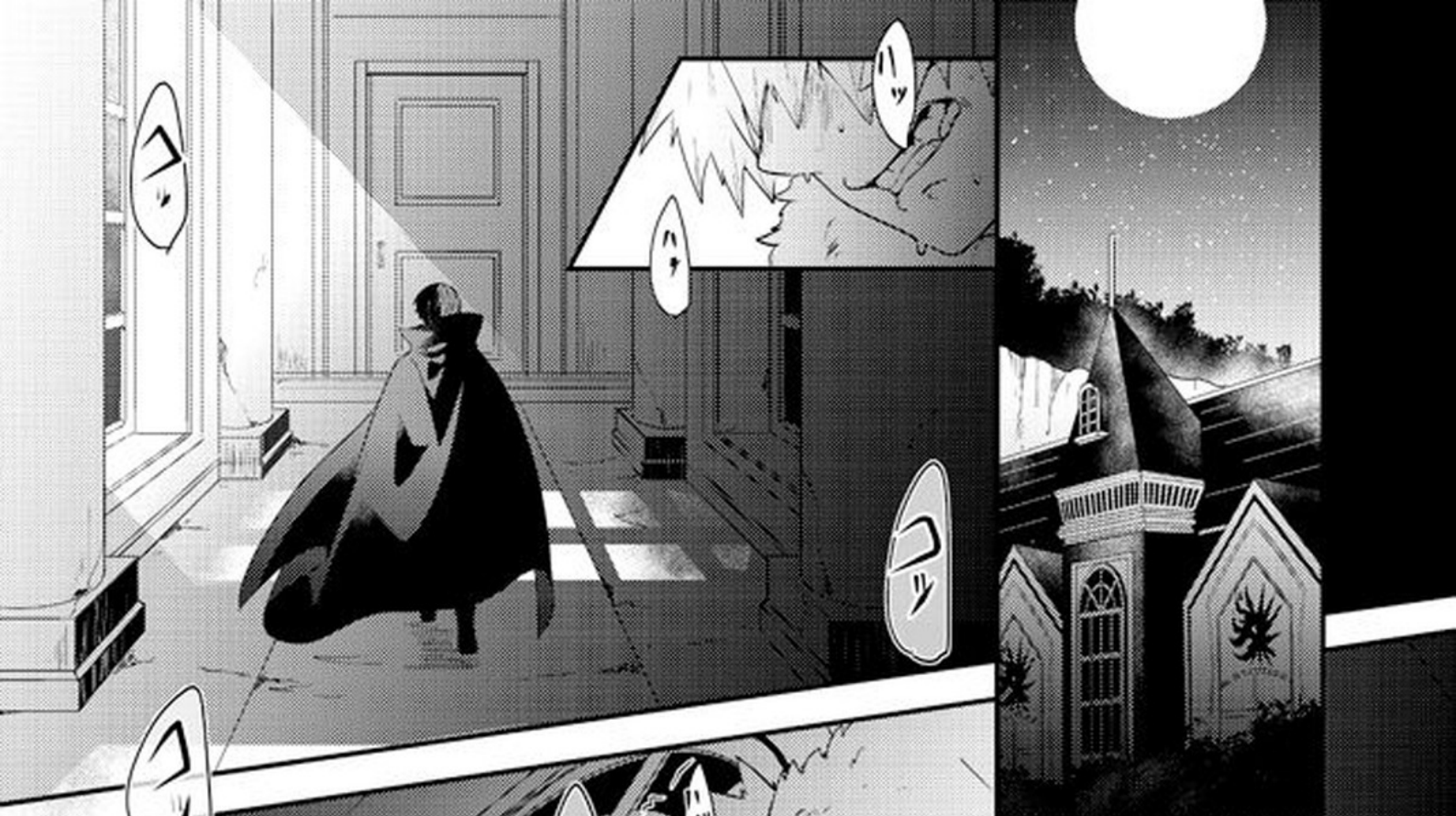


ただ

それだけが

AO

動俺死
かのん
した血
たを
の



こんなところに
居たのか

探したじゃ
ねえか





フー

フー

……



フー

……ハッ

なら家外
当たってんじゃ
ねーか

ハッ



そうかもな



くだらねえ
戯言は
もういいわ

目障りだから
さっさと
消えろや



ヒトの間では
青い月は
凶兆の徴と
されているらしいな

確かお前が
ここに来た夜も
同じ色の月だった





ハアッ!?

ただ俺も
こういうのは
慣れてねえからな

不快だったら
すまねえ

んだと……

てめえ……っ

……んな
もん……っ

んうっ……

やめっ……!

は……っ

……ハッ

サイアクだー

……クソッ

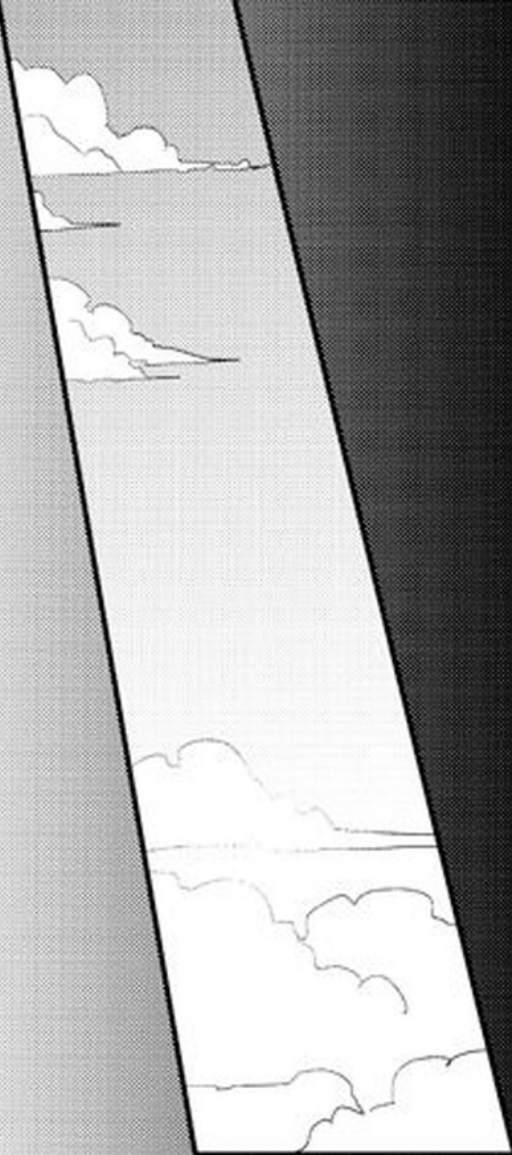
うっ……

クソ……が……っ

……不快
どころか……っ









それが
発現した
す物心だ
ぐつたの
だつたは
つては

ヒトとバケモノが入り乱れる不安定なこの世界



そんな世界で
稀にヒトの中にも
特殊な力を
持つ者が現れた

産まれる際の
バケモノとも
ヒトとも違う
異質な力

ヒトを脅かす
バケモノの
存在は
もちろんのこと

普通とは違う
超常の力を持つ者も
異端とされ
畏怖の対象となった

いいかい

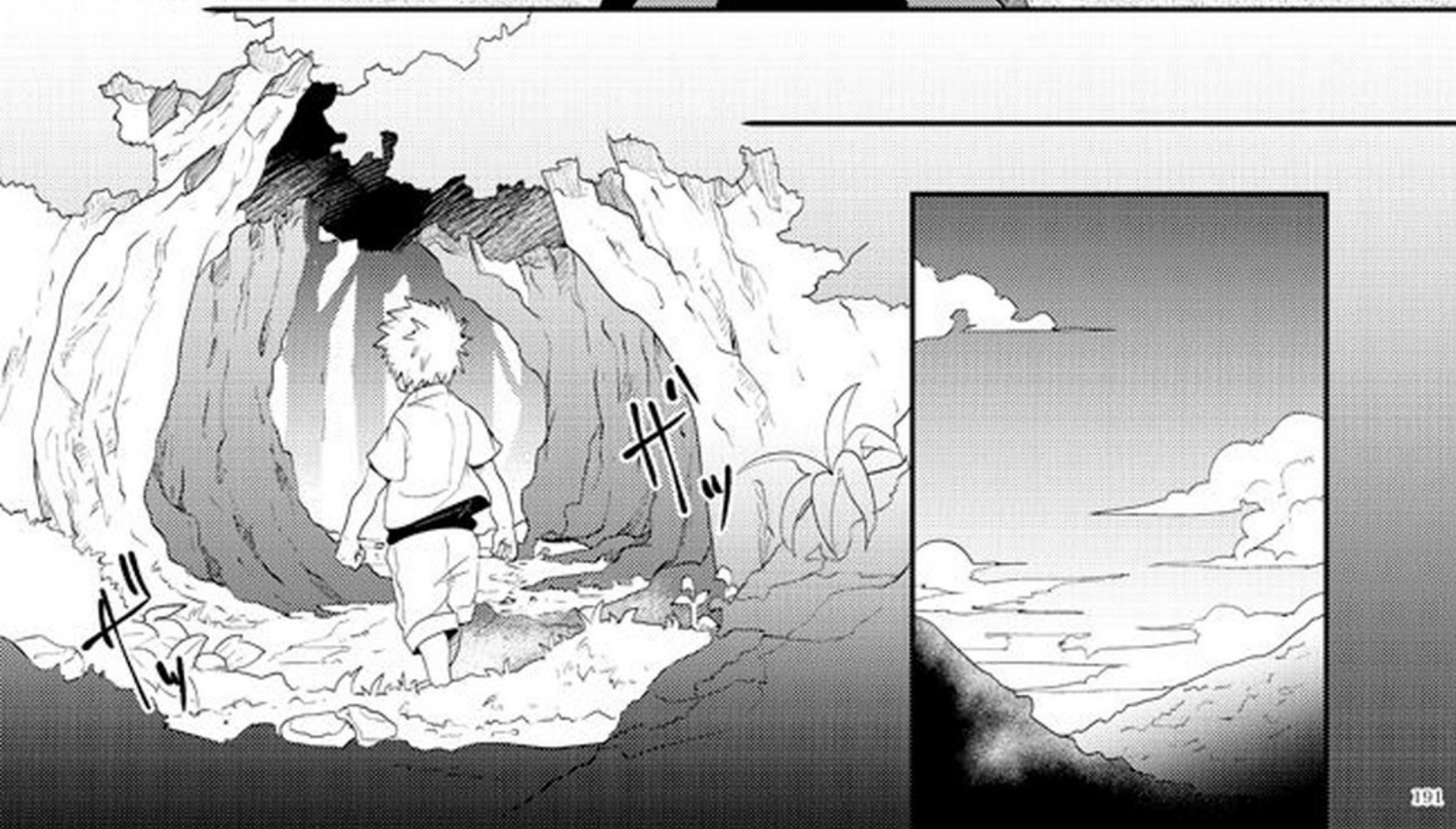
勝己くん

絶対に

絶対に人前で
その力を使っては
いけないよ

その力は
周りのヒトを
驚かせて
しまうから

だから
絶対に使っては
いけないよ



その力は
絶対に

いかにか
勝てんか

ようするに
人前じゃなきや
良いんだろ

絶対に
人前で

何してんだ？

前に探検中に
見つけた
無人の洋館

あった

こんなに
スゲーに
力なのに

ここなら
誰も
来ねはず……



すげえな

ソレ

……はっ

……

その
バチバチって
するやつ

すげえなって

はあっ!?

……てめエはっ

コレが
ーのか!?

なんでだ?

だってそれは
お前のもんなら
なんなの?

——いいかい
勝己くん

—それは
皆を驚かせて
しまうから—

なら
それって
誇るべきもんじゃ
ねえのか？



なあ
爆豪

なんで
こんなとこに
居たんだ？

……てめっ！
気安く
呼んでんじゃ
ねーよ！

カンもん
ねーだろ！

関係なくねえぞ
だってここは
俺の家だからな

ハアツ!?

家!?

こんな
ボロ屋敷に
住んでんのか？

だって前
探検した時は
だれも……

昼間は地下室で
寝てるからな

俺一人で
住んでるから
必要などだけ
掃除してんだ

なんだソレ……

家族とかは
いねーのかよ？

今はいねえ

一人だ

……
おい

半分ヤロー！

次来た時
俺と勝負しろ！

今度は
ぜってー勝つ!!

気に食わねえ
ヤローだ

待ってる

…ああ

それが
コイツの
第一印象

加えて森は
おかしな
ヤツだった

衝突も多く
勝負事の延長戦上で
喧嘩も何度もした

そんな他愛も無い
日常が
続いている中

いつの間にか
俺は

っし!

前より大分
使い慣れてきた

この時間を
心地良いと
感じるように
なっていた

ずっと
特訓
してるよな
でも
人前じゃ
使えねえだろ?

あ?

自分の個性なのに
訳分かんねーまま
ほっとくとか
クソだろ

それにコイツが
どこまでできるのか
試してみてえ



そんな
俺は



出てたから



血が



…なっ
にして…



どっか
行きてーとこ
とかねーのかよ

てめーこそ
ずっとここに
居んだろ

っつーか
轟!



…
どっか…

…そうだな




…ハア!?


だからって
舐めんや!
キメエ!!

汚ねー
だろーが!

おっ



静かの海




あっ?
静かな海?


海に
行きてーのか?

なら
俺が今度
連れてってやるわ


海はこっから
だいたいぶ
離れてるからな



てめエ
へぼんじゃ
ねーぞ



そうか



楽しみだな





当分
ここに
来れねえは

爆豪
轟

あー…
…約束

…そう
なのか…



先延ばしに
なっちまうわ

…
そうだな
でも
仕方ねえよな



仕方ねえ

お前も

そんだけ

色々
忙しそ
うだも
んな

そんだけか

そりやそうだ

とつた
て俺は

ただの
話し相手

ただ
それだけで

だけど

でも

海のこと
気にして
くれてたんだな

俺にとって
こいつは

こいつは—

爆豪



ありがとな



危うく
口走りそうに
なつた
くだらねえ
言葉は

どうした？
爆豪？

うっせえわ！

こつち
見んなや！！

無理やり
喉の奥へり
飲み込んだ





呪われた
魔女の力を
封印する為のな

それは所謂
制御装置って
やった



大人しく
しててね

はい



たった数時間前の
出来事だぞ

クソモブが!!

しかも中央の協会から
こんな短時間で...

お前が往来で
魔女の力を
使ったという
報告があった



今までは
なかなか
決定的な証拠が
掴めなかったんだがな

もしかして
前から監視されて



まるで
謎の力に
守られてい
るみたい

はあっ!?

何言ってる...

爆豪勝己

お前はこれから
異端審問に
かけられる

まあ判決は
分かりきって
いるがな

……
なっ

連れて行け



てめえが

乙

乙

バズ

乙

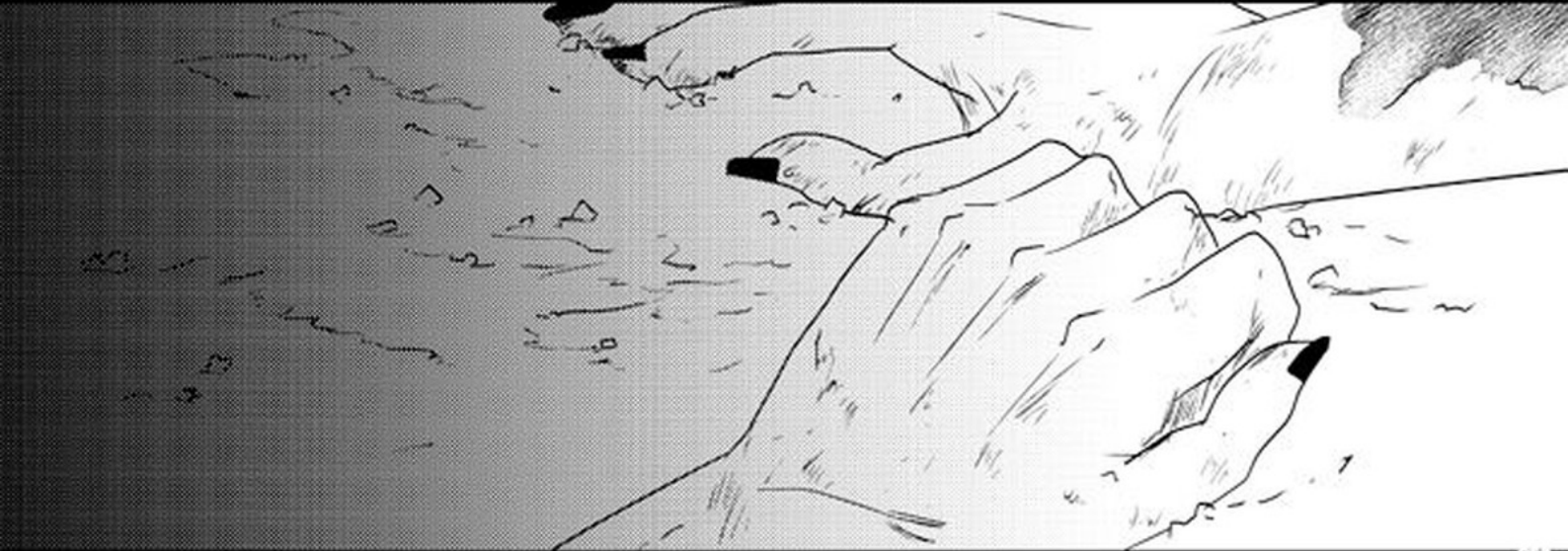
乙

お前が
抵抗しな
ければ
以上は
危ない
これ以上
加えな
い



まあ
悪く
思う
なよ

ヒトというの
は臆病な生き物
なんだよ







青い……

月……







…俺は

ただ

てめえと
他愛も無い会話
心地よかった

てめえが
好きだった

そんな
時間が入って
気に入って

ずっと
この時間を
大切に
思ってた

それが

いつの間にか
こんな
異形の姿に
なって

それでも！

それでも
喜んでる自分が
クソみてえに
浅ましくて！

衝動に
駆られるまま
てめえを抱いて

すまねえ

爆豪



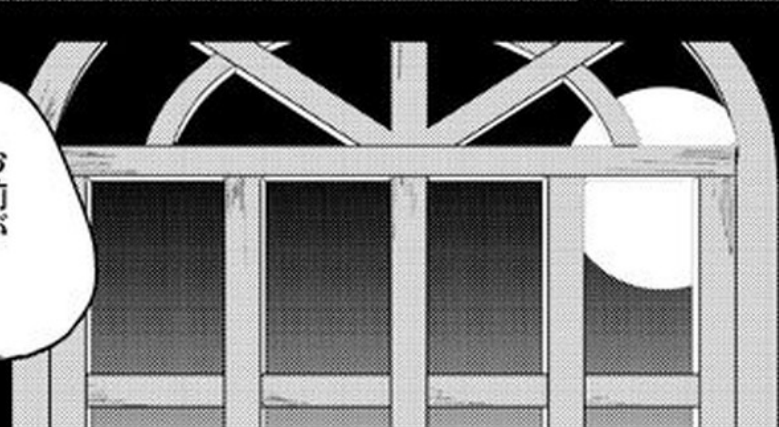
すまねえ



すまねえ



お前が
謝っ
とんだ



な
んで

お前を人狼に
したの
は俺だ

あの日風が
町外の丘から
強い血の匂い
を運んできた

それは
覚えのある
匂いだ

そこで
目にした
光景は

もう二度と
思い出し
たくもねえ

俺がお前を
パケモノにした

……に

言……

吸血鬼は
自らの意思で
血を吸うと
同族に

肉を与えると
眷属として
人狼に
することができ

俺はただ拷問に
かけられたお前を
助けたかった

その為には
こうするしか
無かったんだ！

わりい

ずっと

言おうと
思ってたんだ

でも

言えなかった

……んだソレ

ヒーロー
気取りかよ

俺を
人狼にした!!



なら
なんで!



なら!



なんで!

てめえと同じ
吸血鬼に
しなかつた!!



ご

ばく

あん時
死んでた
方が
良かったわ



そんなん
だったら

俺は……

ただ

お前を
無窮の生に
縛りたくなかった

あの日森の中で
子供に変化してまで
お前に声をかけたのは
幼いお前の力と
周りの目が
心配だったからだ

あの森の中なら
俺の力が
行き届くから

俺みてえに

永劫の孤独には
付き合わせたく
無かった

ただ
お前とずっと
話しているうちに

多分

爆豪が思ってる以上に
俺はお前のことを
大切に思うように
なっていた

だからこそ
俺はお前に
今度こそ
全うな死を
与えたかった

だからこそ
有限の命を持つ
人狼の生を選んだ

ただ

それだけ
だったんだ

……ハッ

吸血鬼サマってのは
随分と傲慢なんだな

孤独が
なんだ

こんだけ
むちゃくちゃ
やっつけて
今更それを
言うのかよ





ハッ
それくらい
我慢しとけ

ああ
半分ヒトの血が
混ざってるからな
ただ眠気が
すげえけど



おい
てめエ確か
昼間の遠出も
平気なんだよな？



海

連れてって
やるよ



俺の知ってる
海はそうじゃねえ

夏になる度
連れていかれた
田舎の小さな海だ

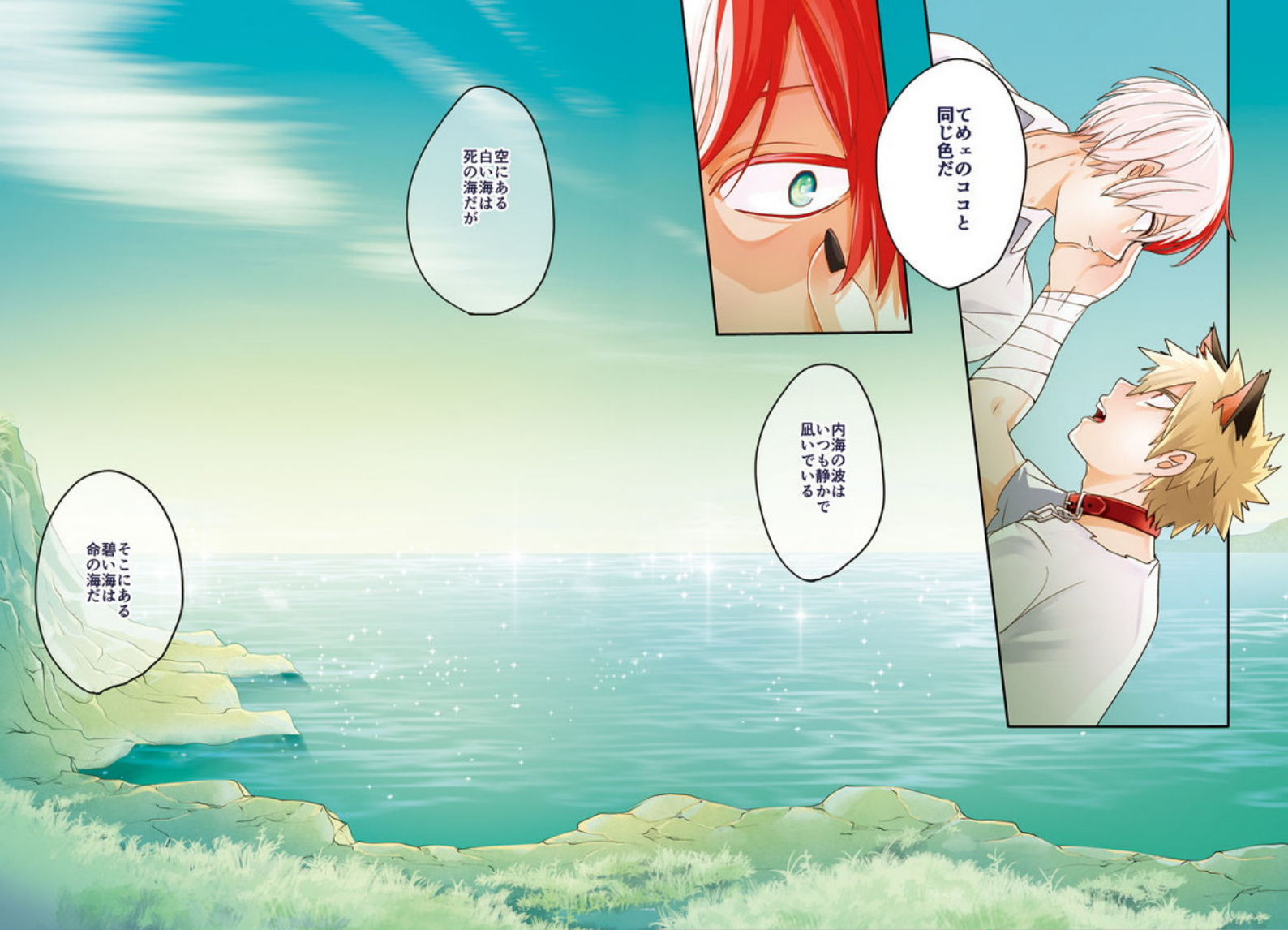


てめエが
昔言ってた
静かの海

あれは
月にある海の
ことらしいな

碧い

碧い



死白空にある
海はだが

てめえのユユと
同じ色だ

内海の波は
凧いつでも
静かだ

命そこにある
海は

……なんとも
皮肉な話じゃ
ねえか

なら
代わりに
俺の血を飲め

でも

その海は
俺も
見てみてえな

それが
交換条件だ

……それは

随分と酷い
提案だと
思うぞ

うっせえ！

今更
てめエに
言われたか
ねーんだよ!!

散々
テメーのエゴを
押し付けられた
後なんだ！

俺にだって
仕返しする
権利くらい
あんだらうが!!

いいか

これは
俺自身の
意思だの

てめーと
同じ時間を

一緒に
生きてやるって
言ってるんだ



分かった

少し考え
させてくれ

ああ!?

またそうやって
先延ばしに
すんのか!?

どうせ一度
死んでんだ

なら俺の人生
好きなように
生きてやるわ